**2014年　全日本総合選手権大会 関東地区予選会**

**2連勝・第1代表で本大会出場決まる**

　2014年、第66回 全日本総合選手権大会･関東地区予選会に初出場の本学は、千葉･山梨を破り、2連勝、第1代表で本大会出場権を獲得しました。本学は、9月13日～15日 和歌山県紀の川市･橋本市で開催の、国内では最も権威のある、全国大会に初出場する事になりました。

　東京都あきる野市で開催の関東地区予選会は、降雨で1日順延しましたが、6月29日 本学は1回戦千葉クラブと対戦。初回5得点の速攻で5回コールド勝ちし、続く代表決定戦は、山梨学院大と対戦。3回に2点先制し、有利な試合展開。最終回に2点差に追いつかれたが逃げ切り、2連勝で第1代表になり、本大会出場を決めました。

【試　　合　　結　　果】

|  |
| --- |
| 6月29日（日）　1回戦　9:30～　千葉クラブ　　　於：あきる野市民広場 |
|  | 本学・長短11本、7得点　5回コールド勝ち |  |
| 　 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |  |  |  |  |  |
| 千葉クラブ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |  |  | (千)高橋－長竹 |  |
| 東京富士大 | 5 | 0 | 0 | 2 | X　 | ７X |  |  | (富)細井、小林、江渡－深沢 |
|  | ２：長谷川(富)、中嶋、安保(千) |

後攻の本学は、初回無死、吉田が敵失で出塁。荻野四球後、田口美･小川原･麓･深沢･田口秀の連打で5得点。一方、千葉は、細井･小林･江渡の3投手に対し、5回を散発4安打無得点に抑えられた。本学は4回無死、四球出塁の荻野が盗塁し、田口美のタイムリー。1死後、麓がエンドランを決め、2点を追加した。大会規定により、5回7点差になり、コールドゲームで本学は、決定戦に進出した。

|  |
| --- |
| 代表決定戦　14:00～　山梨学院大学　　於：あきる野市民球場 |
|  | 中盤 荻野のタイムリーで先制、江渡の好投で勝ち、初の本大会出場を決める |
| 　 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |  |  |  |  |
| 山梨学院大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |  | (山)清水、深井－森田、渡辺 |
| 東京富士大 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | X | 4x |  | (富)江渡－深沢 |  |
|  | ２：麓(富)、村上(山) |

本学は3回2死後、1番 吉田がファールで粘り、14球目を四球出塁。2番 長谷川のヒットで、2死2･3塁のチャンス。3番 荻野は、ライト線に執念の2点タイムリーで先制。3回は、9番 田口秀のエンドランで追加点。4回は、ヒット出塁の荻野、田口美を2･3塁に置き、黒澤がエンドランを成功させ、有利な試合展開。一方、山梨は7回1死から、黒澤のショートゴロ失策から、1番打者の2塁打を、深沢の連携ミスで3進、2番のレフト犠飛で2点差に迫ったが、最後の打者が3塁ゴロに倒れ試合終了。本学は、第1代表で、全日本総合選手権大会の出場権を獲得した。